かべ新聞

2015年1月16日 第98号

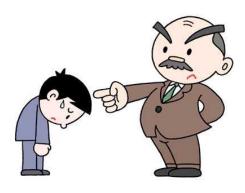
東京第一運輸所分会

年末年始輸送期間を終えて

一年で一番忙しい年末年始の安定輸送期間も終わりほっと一息ついたところですね。乗務員にとっては帰省とUターンラッシュでどっと疲れた事と思います。皆さんお疲れ様でした。しかし、乗務員が汗をかき、緊張しながら乗務しているときに気持ちを逆なでする光景を目にしていませんか?ホーム上でストップウォッチを片手に立っている管理者です。5 分前出場しているかを確認し、さらに閉扉後8秒以上経過してから起動しているか実測しているのです。

いいな一あんな仕事なら俺もやらせてくれないかなと思ったり・・・高額所得者の管理者がほとんどバイト学生でも出来そうなことやっているんかい!と愚痴もこぼしそうになる。あの行為(仕事)が安定輸送にどれほど寄与しているのか疑問だ。どうせなら運転士のライセンスがあり、完璧な運転操縦を指導する実力を持ち合わせている管理者が自分でハンドルを握った方がどれほど会社に貢献できるかと誰もが思っている。

休みも取れず休日出勤までしている乗務員の労を考えたら繁忙期には管理者自らが乗務する姿勢をしめせば、社員の尊敬と業務に対するやる気も高



くなるのではないのかな。添乗して喚呼の言い 方の違いをあげつらい、指摘だ!指摘だ!と騒 いでいればそれで良しではないはずだ。

今年も管理者の動向をみんなで見ていこうぜ!